

令和5年度 市民と高松市議会議員との意見交換会

日時：令和5年11月6日（月） 午後1時30分～午後3時
会場：高松市防災合同庁舎3階 301会議室他

【午後1時30分】

議会運営委員会の 造田正彦副委員長の司会で、市民と高松市議会議員との意見交換会を開会いたしました。

開会に当たっては、まず、白石義人議長が挨拶をして、次に、議会運営委員会の橋本浩之委員長が意見交換会の進め方等を説明しました。

その後、4グループに分かれて、テーマごとに意見交換をするため、別室等に席を移動しました。

市民の皆様には、それぞれ、興味のあるテーマのグループに入ってもらいました。



【午後1時40分～】

市議会の常任委員会ごとのグループに分かれ、各常任委員会が調査・研究しているテーマについて、市民の皆様と意見交換を行いました。



グループ1（総務常任委員会）

テーマは、「防災情報等を広く市民に伝えるために」まず、斉藤修副委員長からテーマの概要を説明し、杉本勝利委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

市民からは、「若者は自ら情報を取得することが得意だが、高齢者はそうでない方もいる」、「防災ラジオを購入ではなく配付できないか」との意見のほか、平時からの備えとして、「地域ごとの防災マップを作成し配布してはどうか」「地区の防災訓練に防災弱者の方の参加を促す」や、「防災訓練で防災士の方の知識・経験を生かして訓練内容の充実を図ってはどうか」などの御意見をいただきました。また、「日頃から



地域や若者と交流の機会をつくっておく」や、「若者の情報収集力を防災に活用してはどうか」といった、若者にも地域での活躍を期待する意見もありました。

グループ2（教育民生常任委員会）

テーマは、「ICTを活用し保育の充実を目指すために」

まず、春田敬司副委員長からテーマの概要を説明し、橋本浩之委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

実際に現場で活躍されている保育士の方や子供を預けている保護者に御参加いただき、保育士からは「現在の園に1台の端末では少ないので、各クラスに1台あるとよい」や、ICT機器の活用が苦手な人もいるので、「基礎的な知識の研修や勉強会が必要」などの意見がありました。また、保護者からは、ICT化により「お便り帳などが簡単にできる」や「病気で欠席する際に症状等をメール等でできれば楽になる」など、それぞれの立場や、実際の経験などから、とても参考になる御意見をいただきました。



グループ3（経済環境常任委員会）

テーマは、「地域全体での脱炭素化を目指して」

まず、住谷篤志副委員長からテーマの概要を説明し、坂下且人委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

実際に仕事で脱炭素に関わっている方にもご参加をいただき、「公共施設の冷暖房、電気、ガスなどに再生可能エネルギーを活用する」や「節電効率の悪い、古い家電を使用している家庭も多いため、消費電力を抑える家電や電気設備に買い替えを促すための補助を強化する」などの御意見をいただいたほか、市民の意識改革として、「給水スポットの範囲を広げ、多くの人に知ってもらえるよう、周知を強化する」など、たくさんの御意見・御提案をいただきました。



グループ4（建設消防常任委員会）

テーマは、「街路樹を安全で効果的に機能させるために」まず、辻正彦副委員長からテーマの概要を説明し、中西俊介委員長の司会で市民の皆様と意見交換を行いました。

意見交換の中では、まず「街路樹自体は季節感や風情の観点から必要」や、「歩道の根上がりなど、適切な管理が必要」との意見、また、本市の事業で道路清掃等のボランティアをお願いしている、たかまつマイロードに参加している企業の方からは、「たかまつマイロードへの参加企業を増やすことが大事」との意見。また、「街路樹の命名権を付与することは魅力的な取組」「樹木を伐採した跡地には、その道路の由来を説明する看板等を設置するのもいいのではないか」などの様々な意見・提言をいただきました。



【午後2時45分】

再度、元の場所に集合し、各常任委員長から、グループごとの議論の概要等を発表した後、大見昌弘副議長からお礼の挨拶をして、意見交換会を終了しました。

実施したアンケートでは、市民の皆様から、「発言しやすい空気感で考えていることを発言できた」や「テーマについて深く考えるいい機会となった」、また、「様々な視点からの意見を聞くことができよかった」などの感想をいただき、とても有意義な意見交換会となりました。

御参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

